

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	令和5年度第4回豊島区健康プラン推進会議		
事務局(担当課)	地域保健課		
開催日時	令和5年11月21日(火) 19時30分～20時30分		
開催場所	池袋保健所1階 講堂		
議 題	1 開会 2 議事 (1) 健康プラン素案修正内容について (2) 健康プランの素案について		
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部非公開 傍聴人数 2人	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由	
	会 議 録	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部非公開	
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 個人情報が含まれるものは一部非公開	

審 議 経 過

出席者	委 員	吉村 典子（東京大学医学部附属病院特任教授） 福田 雅臣（日本歯科大学生命歯学部教授） 重島 祐介（豊島区医師会理事） 関谷 健一（豊島区医師会理事） 高田 靖（豊島区歯科医師会会長） 黒田 亘一朗（豊島区歯科医師会専務理事） 佐野 雅昭（豊島区薬剤師会会長） 伊原 孝子（豊島区薬剤師会副会長） 村崎 佳代子（豊島区看護師会会長） 佐々木 美枝子（豊島区看護師会理事） 五十嵐 淑子（公募区民） 佐伯 晴子（公募区民） 横江 三江（公募区民） 植原 昭治（池袋保健所長） ※委員の肩書・役職は会議当時のものです。
	そ の 他	
	事 務 局	健康担当部長、学習・スポーツ課長、福祉総務課長 高齢者福祉課長、地域保健課長、生活衛生課長、保健予防課長 健康推進課長、長崎健康相談所長、指導課長

1. 開会

○会長 令和5年度第4回健康プラン推進会議を開催したいと思います。

今まで、皆様方の活発なご意見によって、素案がまとまってきたと思います。

本日は、このパブリックコメント前の最終確認ということで、大体1時間程度の会議を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 議事

(1) 健康プラン素案修正内容について

会長 前回の会議及び終了後に、各委員の方々から、健康プラン改定素案についてご意見、ご質問が出されています。その内容を受けて、素案が修正されておりますので、修正内容について事務局から説明をお願いします。

○がん対策・健康計画G係長 事前配付資料の資料1-1、1-2、1-3と資料2のご用意をお願いいたします。まず資料1-1から順にご説明させていただきます。資料2も併せてお手元にご用意をお願いいたします。

では、資料1-1のご説明をいたします。こちらは、前回の会議内における委員の皆様からの主なご意見の一覧となっております。

No. 1、(目次が入るのなら、)「計画の構成」は必要ないのではないかといただきました。こちらにつきましては、目次と重複する内容であったため、「計画の構成」は今回削除してございます。

No. 2、要精密検査となった場合で、がんであったという確率を示すことで、要精密検査となった人の不安を和らげることになるかと思うので、コラム等で記載いただければよいのではないかといただきました。こちらにつきましては、資料2の16ページに、「がん検診要精密検査者におけるがん発見率について」とコラムで取り扱う予定でございます。

No. 3、「20・30歳代の女性のやせを減らします」を「やせを減らし、健康的で魅力的な体をつくります」というふうにしてはどうだろうかいただきました。こちらにつきましては、20ページ、下から6行目でございます。①「20・30歳代の女性のやせを減らし、適正体重を目指します。」という表現に修正させていただいております。また、同様の表現で記載されておりました分野別計画の「V.生涯を通じた女性の健康の推進」小目標の①も同様に修正してございます。

No. 4、他府県からの支援に対する受援体制の構築であったり、各救護所と医療機関等の稼働、各救護所の状態であったり、医療機関の稼働状況、人の充足状況などが共有できるITネットワークの構築に関する取組もぜひ進めて、記載していただきたいといただきました。こちらにつきましては、113ページの中程、②関係機関との連携強化について「関係機関との情報連絡体制を確立し、システムの構築など情報提供体制を強化します。」といった具合に記載を改めさせていただいております。

No. 5、自殺対策の項目になります。(5)目標達成に向けた取組に、豊島区ひきこもり相談窓口を加えていただきたいと思います。こちらにつきましては、76ページの中下段、丸ポチの五つ目になります、表のすぐ上です。関係機関の連携及び相談支援体制の強化に、ひきこもり相談窓口との連携について記載をさせていただいております。

No. 6、注釈の件です。AYA世代、COPD、ポピュレーションアプローチ、それぞれに注釈のご指摘をいただいたので、AYA世代、COPD、それぞれ注釈を新たにつけてございます。ポピュレーションアプローチの注釈は再掲のほうを削除いたしました。また、各注釈は資料編にまとめて掲載してございます。

No. 7、紙たばこ以外の電子たばこ等の無煙たばこの有害性についての説明もコラムがあるとよいといただきました。こちらにつきましては、59ページに、「加熱式たばこについて」という具合で、コラムとして取り扱う予定でございます。

No. 8、V. 生涯を通じた女性の健康の推進に関する小目標②「子育てをしながら、この街に住み続けていきたい人を増やします」とし、豊島区に住んでいてもらいたいという希望を込めた一言を追加していただくとよいのではないかといただきました。こちらにつきましては、78ページ、上段の小目標②です。「妊娠、出産後の健康不安を軽減し、この地域で子育てをしながら住み続けていきたい人を増やします」と、「この地域で」という具合に記載を改めさせていただいております。

No. 9、骨粗しょう症は必ずしも高齢期で出てくるものではない。「年齢に応じて対策をとることで」と記載しているので、「骨粗しょう症を減らします」でもよいのではないかと。さらに、(2)数値目標で、40から70歳代の骨粗しょう症検診の「要指導」「要精密検査」の割合を減らすとあるが、それ以前に、受診率を上げるというのを目標に入れておかないといけないと思うといただきました。

こちらにつきましては、同じく78ページの小目標③でございます。「年代に応じて対策をとることで、骨粗しょう症を減らします」と、「高齢期の」を削除いたしました。また、(2)数値目標、表の一番下の箇所になります。骨粗しょう症に関する数値目標は、40～70歳女性の骨粗しょう症検診の「受診率」に変更いたしました。この「受診率」に変更したことに伴いまして、81ページをご参照ください。下側のグラフになります。前回の素案ですと、「医療機関受診割合」のグラフでございましたが、今回、「骨密度検査受診率と骨粗しょう症検診受診率」に変更し、同じく81ページ、上から4行目にあります。赤字で記載がございましたが、本文に受診率の説明を追記いたしました。

また、21ページ③ライフステージに応じた対策で「高齢者の骨粗しょう症を減らします。」と、同様の表現がこちらにもございましたが、同じ理由により、「高齢者の」の文言を削除して、このような形になってございます。

No. 10、栄養と食生活に関するご意見です。②児童・生徒期のところで、給食の時間を中心にとはあるが、最近問題になっている8月、夏休みの食事をどうするのか、区の方針をここに書いておいていただくとよいと思うといただきました。こちらにつきましては

は、ご指摘の箇所は学校での食育を記載しており、子供の貧困対策としての食育は健康プランでは言及しないため、本計画での掲載は見送らせていただきますと回答させていただきます。

No. 11、同じく栄養と食生活に関する件です。⑤ミドル世代ではメタボ対策であるが、⑥シニア世代になると、低栄養対策になるため、メタボ対策から低栄養対策にシフトチェンジについての記載が必要ではないかといただきました。こちらにつきましては、91ページにコラムで、「メタボ予防からフレイル予防へ」として取り扱う予定でございますので、ご確認をお願いいたします。

No. 12、②学齢期におけるむし歯、歯周病の予防のところの歯周病は、学齢期なので歯肉炎ではないかといただきました。こちら、108ページの下から3行目、②「学齢期におけるむし歯、歯肉炎の予防」というふうに、「歯肉炎」に修正させていただいております。

No. 13、性感染症対策について、梅毒が増えてきており、東京都はチラシを作ったりしていると。梅毒を文字として出さなくていいのでしょうかというふうにご指摘をいただきました。こちらにつきましては、128ページからご参照をお願いいたします。性感染症対策について、梅毒・クラミジア・淋菌等の具体名を追記し、梅毒は届出件数とグラフ、129ページのほうにグラフと考察のほうを記載いたしました。また、128ページ下側になります、HIV（エイズ）患者数の届出件数を、前は令和3年の数値でございましたが、このたび令和4年の数値に更新してございます。さらに、129ページの下から8行目、iii) 豊島区の現状の箇所でございますが、赤字で「HIV検査と同時に梅毒、クラミジア、淋菌の検査を実施しています。」と追記してございます。

No. 14、「看取りの啓発を強化」を「在宅での看取りの啓発を強化」としたほうがよいのではないかといただきました。こちらにつきましては153ページ中段の箇所、朱書きのところでございます。「在宅医療という選択肢の情報提供や在宅での看取りの啓発を強化していきます。」と、ご意見のとおり修正させていただいております。

No. 15、(2) 数値目標「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられると思う区民の割合」を考え直すべきではないか。在宅療養が実現可能になる、体制か何か数値目標にしたらよいのではないかといただきました。こちらにつきましては、ご指摘の数値目標は、豊島区基本計画における健康分野の指標と同様のものを用いております。改定案で用いている指標を変更すると現状値が取れなくなるため、次回調査で新たなアンケート項目を検討し、次回健康プラン改定時に反映させられるように検討いたしますと回答させていただきます。

No. 16、「②保育園での食生活に支援及び介助が必要な人への対応」で「障害児及び医療的ケアが必要で」と書いてあるが、ダウン症や発達障害のお子さんの摂食指導についても記述があったほうがよいのではないかといただきました。こちらにつきましては、ご指摘の対応以外にも、障害児や要介護園児への支援として、(3) 目標達成に向けた取組

に記載しており、ダウン症や発達障害の摂食指導等の個別的な対応の記載は本プランになじまないため記載を見送らせていただきますと回答させていただきます。

No. 17、高齢者の孤食対策・予防として、食育（おとな食堂）の記載があったほうがよいのではないかといただきました。こちらにつきましては176ページ（3）目標達成に向けた取組の丸三つ目になります、「だれでも食堂（高齢者福祉課）」を追加させていただきます。

No. 18、「12歳臼歯」（年齢）ではなく「第二大臼歯」としたほうがよいのではないかといただきました。こちらにつきましては191ページ、下から8行目になります。

「12歳ごろ、第二大臼歯が」という具合に、ご意見のとおり「第二大臼歯」に修正させていただきます。

No. 19、中学校ぐらいの児童・生徒になると、歯列不正についての啓発や矯正の相談を記載していただくとよいといただきました。193ページ、上から6行目になります。こちらに、新たに「自分の歯や口に合った歯みがき方法や清掃補助道具の選び方、歯列不正に対して矯正歯科へ相談するなど、」という具合に文言を追記いたしております。

No. 20と21につきましては、誤植の修正をさせていただきます。ちなみにNo. 21は、こちらの印字のほうが誤植でして、誤植「通院により」となっていたものを「通院による」というふうに修正させていただきます。

No. 22、参考資料2、ライフステージ一覧表になります。歯科と食育も世代別であるので、何ページ参照というようなことを一緒に入れていただくと、全てが連動していると分かるのではないかといただきました。こちらにつきましては、資料2の一番最後、資料編のほうをご参照いただければと思います。こちらのほうが、一番下、アスタリスクを打ってございます、食育推進計画におけるライフステージ別一覧は164ページに、歯と口腔の健康づくり計画におけるライフステージ別一覧は184ページに掲載していますとアスタリスクを打ってございます。また、こちらの各施策について目標達成に向けた取組や事業を掲載しているページを付記してございます。

No. 23も同じく、このライフステージ表のご指摘、ご意見でございました。地域医療体制の充実に、お薬相談窓口（あうる薬局）と入れてほしいといただきました。こちら、緑の帯になっている下から二つ目になります。ポチ三つ目、「お薬相談窓口（池袋あうる薬局）」と追記してございます。

資料1-1のご説明は以上でございます。

続きまして、資料1-2のご説明をさせていただきます。資料1-2は、会議の後にご意見シートでいただいたご意見になります。

1番、かかりつけ医・歯科医・薬局を、薬剤師（薬局）としていただくことはいかがでしょうかといただきました。こちらにつきましては、該当箇所が多数ございまして、全ての該当箇所に「かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局）」と修正させていただきます。

No. 2になります。④歯科保健に従事する人材確保・人材育成に関する箇所で、「都立

病院（大塚・豊島・荏原）からの研修医受け入れ」という説明を追記していただきたいといただきました。こちらにつきましては209ページの中段のボチ六つ目、こちらにご意見のとおり追記をさせていただいております。

資料1-2の説明は以上でございます。

続きまして、資料の1-3のご説明を順にさせていただきます。

No. 1、資料2の4ページをご参照いただきたいと思います。こちらは、コラムの中でSDGsに関するものを記載してございます。また、当計画において関連する主なSDGsを各項目の表紙に付記してございますので、後ほどご確認くださいと思います。

No. 2、18ページ、下から8行目になります。「豊島区では、セーフコミュニティ活動の9項目の」という始まりで、前回の素案ですと、「豊島区では」の後に、「世界保健機関（WHO）の推奨する」という記述がございましたが、こちらを削除してございます。

No. 3、29ページのご参照をお願いいたします。こちら会議でも、委員からもご意見を頂戴していた内容と重複しますが、豊島・文京平日準夜間こども救急パンフレットの画像を事業名の下に掲載してございます。

No. 4、69ページ上段の小目標①、②、こちら二つとも、「自殺・うつ病の予防に関する」といった具合に「・うつ病の」と追記してございます。

No. 5、同じく69ページの（4）現状と課題について、①自殺の現状と、前回素案では自殺の現状となっておりますが、このたび自殺死亡率の推移とタイトルも変えまして、記述を見直し、各グラフのほうに説明文を記載してございます。グラフはそれぞれ70ページと71ページにございまして、タイトルの下に説明文を付記してございます。

No. 6、73ページです。一番上、「④年代別自殺者数」と表題をつけまして説明文を記載し、このたび新たにグラフを三つ追加してございます。

No. 7、75ページです。下から6行目からの児童虐待に関する連携・支援に関する記述を見直し、充実いたしました。

No. 8です。こちらは、117ページの空きスペースに、「豊島方式」によるワクチン接種に関するコラムを掲載予定でございます。

No. 9、155ページ中段の表の二つ目、在宅医療推進強化事業の事業内容、前回は医師会検討中と記載してございましたが、このたび事業内容を記載させていただいております。

No. 10も、210ページに、池袋保健所移転に関するコラムを掲載予定でございます。

No. 11、218ページ資料編になります。今回の健康プラン改定から、自殺対策計画も包含して作成してございますので、関係条文として自殺対策基本法の条文を追記してございます。

No. 12、同じく資料編でございます。ちょっとページをおめくりいただきますと、用語説明という形で巻末に用語説明を再掲いたしております。本編の中で米印で用語説明されているものは、全てこちらのほうに用語説明として再掲してございます。

最後、No. 13になります。前回の素案までは、米印、注釈も全て同じ記号を用いてございましたが、今回精査をしまして、注釈は「*」にし、「※」は用語の説明の記号として整理いたしましたというご報告になります。

長くなりましたが、私からのご説明は以上でございます。

(2) 健康プラン素案について

○会長 この健康プラン素案につきまして、これまで会議を重ねましてご意見をいただいていたまいりましたが、この素案を来月からパブリックコメントにかけていくことになります。それで、事務局の今の修正内容を含めまして、全体としてご意見がございましたらお願いしたいと思います。ご質問される方は、ページ番号をおっしゃってからご質問いただき、できましたら一問一答形式でよろしくお願ひいたします。

ご質問、コメントなどはございますでしょうか。

○委員 21ページ、写真の件なのですが、前回の発行資料の写真と同じなんですね、2枚とも。お二人の向き合った写真と、下の運動している写真。前回の、古い。ここで扱っている写真なのですが、ああ、見かけた写真だなと思いつつながらめくっていたんですね。新しいのがあれば、そちらの写真と変えるといいのかなと思いました。

○会長 事務局の方、今のご意見につきまして、どうでしょうか。

○地域保健課長 写真の掲載につきましては、今後、実際冊子にしていくに当たって、色合いなどの都合で、この色が使えるかどうかも含めて検討させていただきます。

○会長 ほかに、ご質問、コメントなどはございませんでしょうか。

○委員 今回、自殺対策が盛り込まれているというのがとても大きいことだと思っておりますが、65ページの上のほうの3行目に心のサポーターというのが出てきて、ここではちょっと解説みたいなものがあるんですが、ゲートキーパーとの違いというのがよく分からなくて、資料編の用語説明のところには、ゲートキーパーと並べて心のサポーターとあるのですが、どのように違うのか、そこに、例えばコミュニティソーシャルワーカーがまた絡むようなら、それともどう違うのか、説明があればいいと思いました。

○保健予防課長 私からご説明します。ゲートキーパーにつきましては、自殺対策ということで、門番というような言い方をよくされますけれども、自殺対策を対応していただいている方にとっては、もう熟知されているような言葉になっているのですけれども。このたび、心のサポーターという新しい言い方を国のほうから申しております、心のサポーターにつきましてはここに書いてあるとおりでありますが、精神疾患への知識を持った方、それでまた理解を持っている方がメンタルヘルスの問題を抱える方を支援する、そういった方を増やしていきましようという呼びかけがありまして、今度こういうサポーターを自殺対策の啓発活動の中でも増やしていきたいと考えているところでございます。ご意見、大変ありがとうございます。少しその違いというのが分かりにくいというのがありましたので、このところを分かりやすいように、ご指摘があったところをよく分かるような形で検討

させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○委員 例えばゲートキーパーというのは、素人の人が養成を受ければなることができるのか、心のサポーターは、もう専門職なのかとか、その辺りを書いておいていただけると、元気な人でも何かそういうのに関与したいな、手伝いたいなと思っている人がいらっしやると思うんですけども、そこが何かつながればと思います。

○保健予防課長 ご意見をありがとうございます。そういったご意見も含めまして、分かりやすいような形でなるべく記載のほうをしたいと思います。ありがとうございます。

○委員 すずらんスマイルプロジェクトというのも、そこにも入れていただければと思います。ありがとうございます。

○委員 歯科のほうで、「学齢期における歯周病」というのを「歯肉炎」に修正して、3章の部分はいいのですが、5章のほうは修正されていないので、学齢期のところは歯周病ではなく歯肉炎としていただきたいので、184ページの小目標の、赤になっているんですけども、ここは歯周病ではなくて歯肉炎のほうがいいと思います。あと、同じくやはり学齢期のほうで、191ページの小目標も歯周病となっているので歯肉炎にさせていただき、192ページの「②歯周病の予防」も、「歯肉炎の予防」というふうにしていただくといいと思います。よろしくお願いします。

○地域保健課長 ありがとうございます。こちらのほうの見落としでございますので、修正をさせていただきます。

○会長 ほかにご意見はございませんでしょうか。

○委員 174ページ、175ページですけども、173ページでミドル世代が来ていて、175ページで(1)目標なので、ここに6番が入ってくるのかなと思っていたんですけど、これは私の印字がないだけなんですか。

○地域保健課長 ご指摘ありがとうございます。確かに、ミドル世代の後にシニアが来るはずなんですけれども、それが漏れておりますので、そこは修正をさせていただきます。

○会長 ほかにコメントございますでしょうか。

○委員 79ページの、若い女性のやせということで、ここで取り上げられてますが、体重だけでよいのかと思ひまして。葉酸やカルシウム、亜鉛、鉄などの調べは、経年で調べてはいないんでしょうけども、今、この令和5年のときに、こんなデータがありましたよというものが何かあってもいいのかなと、体重しか目安はないのかなというのが少し気になりましたが、いかがでしょうか。

○健康推進課長 ご質問ありがとうございます。これまではやせのところがポイントでしたが、おっしゃるように最近、妊娠、出産前のということで、プレコンセプションケアなど、新しい中で、葉酸などの栄養成分のことも取り組んではおりますので、若い女性の健診で、保健所のほうでデータの分かるものがあれば掲載するようなことを検討させていただこうと思いますが、具体的に何かご示唆があるとかでしょうか。

○委員 いや、やっぱり葉酸というのがクローズアップされてますし。

○健康推進課長 葉酸。そうすると、現状のほうになるか取組になるか分かりませんが、少し要望として、今から入るか検討させていただければと思います。

○委員 先ほどの委員がおっしゃった「やせ」のところですが、BMI 18以下ですと骨粗しょう症のリスクがあるとか、そういった数値が多分出ていたかと思うんですけども、そういったものも追記していくと分かりやすいのかなと思います。

○地域保健課長 ご意見ありがとうございます。今いただいたご意見につきましては、掲載できるかどうかも含めて検討させていただきます。

○会長 ほかにございませんか。

○委員 BMI 続きですが、用語解説のところのBMIのところの（体格指）って、指数ですよ、これ。体格指で止まっているので。

○がん対策・健康計画G係長 おっしゃるとおり、体格指数でございます。

○委員 あと113ページに「タイムリーで適切な情報が提供できるように、ホームページや」とありますが、私は豊島区のLINEにお友達登録していると、しょっちゅうLINEをいただけるので、それを書いておかれるといいのかなと思いました。

以上です。

○地域保健課長 LINEにつきましても、検討させていただきます。

○委員 156ページの（カ）医療・介護関係者の研修の事業名のところで、「訪問看護師・リハビリ体験研修」とありますので、これは訪問看護「師」は要らない、訪問看護でよろしいかなと考えました。あと、118ページ、119ページ、120ページにある医療救護活動従事者等の登録という言葉について、119ページは「医療救護活動従事看護師等」に、ここだけなっているんですけども、ここは統一したほうが良いと感じました。

以上です。

○地域保健課長 ご意見をありがとうございます。先ほどのところは修正と、今の医療救護活動従事者につきましても文言は統一したいと考えてございます。

○会長 ほかにございませんか。

○会長 71ページ、72ページ辺り、自殺者の特徴というところを見ますと、働き盛りの方たち、いわゆる働く環境の変化というものが出てきて、その辺りのところに対して、対応するべきところ、事業所や連携など情報を何か共有するというようなことができないのかなと思いました。いかがでしょうか。

○保健予防課長 私から回答させていただきます。ご指摘どうもありがとうございます。働いていらっしゃる方、やはり自殺を考えられる方がいらっしゃるということで、その対策としまして、この75ページの重点のところ、i)は「子ども・若者の自殺対策のさらなる推進」なんですけど、ii)が「勤務問題による自殺対策のさらなる推進」としておまして、労働基準監督署などとも連携して進めていきたいと考えているところでございます。

○会長 分かりました。ありがとうございます。

それから、あともう1点。前回、発言したところで、ここの最後の一覧表の、ライフステージに則した健康づくりの施策をライフステージごとに並べていただいたというところで本当にありがとうございました。非常に分かりやすいんですけども、そこで、可能ならお願いしたいのですが、食育推進と歯と口腔の健康づくりのところも枠に入れていただいて、やっぱり生涯に通じて、食育にしても、歯科も含まれるので、そういうような見え方ができるように、一覧表の中に入れてあるページ数だけ提示するということは可能なのでしょうか。ちょっと詰めてもらって。

○がん対策・健康計画G係長 先生、いつもありがとうございます。こちらのほうは今おっしゃったとおり、どれだけ食育の内容と歯の内容をこちらの健康プランのほうのステージに入れられるか、いろいろと工夫して、場合によっては断念いたしますけれども、検討させてください。

○会長 下に二つコラムを作って、すっと横に棒を引いて、何ページ参照というふうにしていただいだけでも大分違うのかなと思うんですね、イメージとして。

○がん対策・健康計画G係長 はい。検討させてください。

○会長 ほかによろしいでしょうか。

私も一ついいですか。細かい話ですが、131ページの性感染症のところ、梅毒、クラミジア、淋菌になっているのですが、これ、梅毒、クラミジアは病名だと思うので、これは淋病のほうがいいのかなと思いましたが、何かもしかしたらそういう決まりがあるのかもしれないませんが、そこが少し違和感を感じたので。

あと、この用語集はとても分かりやすくいいと思いました。何が選ばれたのかということもちゃんと定義できていていいと思うのですが、これも細かい話ですが、全角と半角の数字が交ざっているので、私、こういうのは少し気になってしまうので、確認して、全角と半角の数字が入り交じっているところを直していただけたらうれしいです。

あと、最後の、施策のライフステージのこれはすごく分かりやすくいいと思うのですが、ページが入るのはとてもいいと思いましたが、これはどちらかという後ろのほうがいいと思いました。考え方がありますが、最初にページがぼんと来ると、何かちょっと目次っぽい感じがしてしまって、最初に言いたいことを書いて、後ろにページがあるほうがいいのかなと思いました。

以上です。

○保健予防課長 131ページの性感染症につきましては、私からご説明させていただきます。「性感染症（梅毒、クラミジア、淋菌）検査」についてですけども、これは検査の項目という形で、我々がよく使っている言葉を使わせていただきました。梅毒、クラミジア、淋菌で、今ご指摘があった、ここを淋病にしますと、梅毒、クラミジア感染症、淋病という形に変わってきますし、またHIV検査につきましても、HIV感染症という形に変わってきてしまいますので、ここについては、前々からHIV検査につきましてはHIV検査というふうに使わせていただいております。またHIV検査という言い方が一般

的にも、もう皆さん、ご承知の方が多いい状況になっていますので、その項目ということで、検査という言葉につなげるときに耳になじみやすいものを採用させていただきました。私どもはこの言葉をふだんから使っており、定着してしまっていますので、この場で皆様から、ここは淋病のほうが認識しやすいというご意見をいただきましたら、変えようと思います。

○会長 分かりました。ありがとうございます。

○地域保健課長 参考資料の施策の一覧につきましては、確におっしゃるとおり、ページの後のほうが見やすいと思いますので、こちらについては改めさせていただきます。

半角全角の数字等、こちらの資料2につきましては、パブリックコメントに出す前に、素案として半角、全角、文字のフォントや、あと段落でも少し出たりなど、そういうところも多少あるかもしれませんので、その辺り全体を確認してからパブリックコメントとして出したいと思っております。

○がん対策・健康計画G係長 事務局です。先ほどご指摘いただいた淋菌、淋病についての表現、どちらのほうがよろしいのか検討いたします。

○委員 私も、なじみでいったらば、淋菌検査なんですけど。

○委員 そうですね。このままの並びでいいのかなと。そのほうが、確かに予防課長さんがおっしゃっていたとおり、梅毒も病名になってしまって、クラミジアはそのままなので、クラミジアと淋菌は並んでしまうので、ここから、どちらかを採るとどちらかがかぶってしまうので、このままでいいという気がいたします。

○会長 では、このままということで結構でございます。ありがとうございます。

そのほか、コメントは大丈夫でしょうか。

○委員 ささいなことですが、6ページの赤で直していただいたところ、6行目のところで、令和42年とあるんですね。その前のほうで2022年、2025年とございます。ここは2060年でよろしいのではと思いましたが……。

それともう一つ、16ページのコラムで、がん検診の云々の2行目に、私だけが違和感を感じているようでしたら申し訳ないんですけども、「「要精検」となった場合は、びっくりされることもあるかと」、普通のこういうので、「びっくりされる」という言葉を使うでしょうかと、ちょっと少し気になったので申し上げさせていただきました。

○委員 驚かれる。

○委員 うん、驚かれるですね。

○委員 そうですね、驚かれるとか。「びっくり」と出てきたので、びっくりしました。

以上です。すみません。

○地域保健課長 ご意見ありがとうございます。6ページのところにつきましては、ここだけかもしれませんけれども、全体を見て、またちょっと修正等を考えさせていただきます。あと、先ほどのコラムのところについても表現を改めたいと思います。

○委員 先ほどの、131ページの話をしていて、ちょっと気づいたんですけども、②正しい知識の下の1行目のところも含んで赤字で、「HIV（エイズ）／性感染症」の後に、また「エイズ等」と書いてあるので、この「エイズ等」は要らないかなと思います。

○地域保健課長 ありがとうございます。こちらも、そうですね、おっしゃるとおり、こちらの文言については削除させていただきます。

○会長 ほかにコメントはございますでしょうか。

○委員 76ページなんですけれども、ちょっと私の見落としかもしれませんが、ずずらんスマイルプロジェクトという言葉が出てくるんですけども、この内容に関しての記載はどこかにあったでしょうか。なかったら、あったほうがいいのかないかなと思いましたが。

○地域保健課長 ご意見ありがとうございます。コラムにするのか注釈にするのか、その辺り、こちらのほうで検討させていただきます。

○委員 お願いします。

○会長 たくさんのコメントをいただきまして、ますますいい感じになってきたように思いますが、全体を通して、ここはどうしてもというようなご意見、さらにはございますでしょうか。

(なし)

○会長 では、この素案、かなり固まったと思いますが、今後どのような進め方になるのか確認させていただきたいので、事務局のほうからご説明をよろしくお願いします。

○がん対策・健康計画G係長 では、事務局からご説明させていただきたいと思います。当日配付資料のお取り出しをお願いいたします。

当日資料1、今後の予定についてでございます。本日いただいたご意見等、多数いただきましたので、もうほとんどないかと思いますが、「ご質問・ご意見シート」の内容を併せてパブリックコメント版の素案を作成いたします。

パブリックコメント版の決定につきましては、会長と事務局にご一任いただきたいと思います。そして、委員の皆様には、パブリックコメント実施前に素案を郵送させていただく予定でございます。

12月11日月曜日から1月10日水曜日にパブリックコメントを実施いたします。

パブリックコメントでいただいたご意見を素案に反映させて、第5回健康プラン推進会議にて最終案を皆様にご提示いたします。

こちらの最終案をご確認いただき、改定健康プランを決定したいと考えております。

改定健康プラン（令和6年度から11年度）の公表は令和6年3月を予定しております。

なお、今回のパブリックコメントの実施報告及び結果報告は、記載のとおり豊島区議会で報告する予定でございます。

以上です。

○会長 今のご説明に関して、ご質問はございますでしょうか。大丈夫ですか。

では、次回会議の日程の確認をお願いいたします。

○がん対策・健康計画G係長 次回会議の日程、以前から決定しているとおりでございます。令和6年1月30日火曜日、午後7時から、場所はこちら、同じく池袋保健所1階の講堂でお願いいたします。

○会長 それでは、第4回健康プラン推進会議、今回も大変活発なご意見をいただきまして、ますますいい感じになってきたと思っております。この後、パブリックコメントを経まして、改定の健康プランを発表ということになるかと思うのですが、また先生方、次の会議でもコメントなど、どうぞよろしくお願いいたします。

では、今日はここで閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

(午後8時27分閉会)

提出された資料等	<p>《事前送付資料》</p> <p>資料 1-1 第 3 回健康プラン推進会議（令和 5 年 1 0 月 2 6 日） における委員からの主なご意見一覧</p> <p>資料 1-2 第 3 回健康プラン推進会議（令和 5 年 1 0 月 2 6 日） 後における委員からの主なご意見一覧</p> <p>資料 1-3 主な事務局修正一覧</p> <p>資料 2 豊島区健康プラン素案</p> <p>《当日配布資料》</p> <p>当日資料 1 今後の予定について</p>
そ の 他	